

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	34
都道府県名	広島県

学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
広島県学力向上推進地域	600校 (29校)	252校 (13校)	852校 (42校)

学力向上推進協議会(地区別協議会)の設置数及び域内の学校数

地区別協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
広島地区協議会 (大竹市, 廿日市市, 大野町, 宮島町, 湯来町)	30校 (4校)	16校 (1校)	46校 (5校)
呉・賀茂(南)地区協議会 (呉市, 安浦町, 江田島町, 音戸町, 倉橋町, 蒲刈町, 能美町, 沖美町, 大柿町, 川尻町, 豊浜町, 豊町)	75校 (2校)	35校 (1校)	110校 (3校)
呉・賀茂(北)地区協議会 (東広島市, 府中町, 海田町, 熊野町, 黒瀬町, 福富町, 豊栄町, 大和町, 河内町)	54校 (4校)	20校 (1校)	74校 (5校)
芸北地区協議会 (加計町, 筒賀村, 戸河内町, 芸北町, 大朝町, 千代田町, 豊平町, 吉田町, 八千代町, 美土里町, 高宮町, 甲田町)	42校 (3校)	14校 (2校)	56校 (5校)
尾三地区協議会 (竹原市, 三原市, 尾道市, 因島市, 本郷町, 安芸津町, 大崎上島町, 瀬戸田町, 御調町, 久井町, 向島町, 甲山町, 世羅町, 世羅西町)	96校 (5校)	41校 (2校)	137校 (7校)

福山地区協議会 (福山市, 府中市, 神辺町, 油木町, 神石町, 三和町, 豊松村)	100校 (5校)	43校 (1校)	143校 (6校)
備北地区協議会 (三次市, 庄原市, 上下町, 甲奴町, 君田村, 布野村, 作木村, 吉舎町, 三良坂町, 三和町, 西城町, 口和町, 高野町, 比和町)	66校 (3校)	22校 (2校)	88校 (5校)
広島市地区協議会 (広島市)	137校 (3校)	61校 (3校)	198校 (6校)

#### 都道府県教育委員会としての支援策

<p>(1) 地区別協議会に対して 各フロンティアスクールの担当指導主事を定め、専門的見地から指導・助言及び評価を行い、研究進捗状況を管理する。 各教育事務所及び広島市を基本単位とした地区協議会を設置し、フロンティアスクールの研究推進及び研究成果の地区内への普及を支援する。</p> <p>(2) 域内の各小・中学校に対して(含:学力向上フロンティアスクール)に対して 広島県学力向上推進協議会の開催(第1回350名参加,第2回321名参加,第3回404名参加),及び協議会内容のホームページ掲載</p> <p>(3) 実践研究の成果の普及の方策の構築 優れた実践研究校の発表(第1回及び第3回広島県学力向上推進協議会) 学力向上フロンティアスクール中間報告集の作成・配付(第3回広島県学力向上推進協議会)</p>
---

#### 学力把握のための都道府県としての取組について

<p>全県的に学力調査を実施(「基礎・基本」定着状況調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査の目的 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、特に、「読み・書き・計算」などの基礎的な内容とともに、思考力・判断力・表現力などの定着状況を把握する。 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。 調査結果をもとに児童生徒の学習の到達度を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。</li> <li>調査対象教科、学年、範囲 県内の全公立小学校第5学年及び全公立中学校第2学年の児童生徒 小学校第5学年 ア 国語,算数における前学年までの学習内容の定着状況調査 イ 生活と学習に関する意識・実態についての児童質問紙調査</li> </ul>
--

ウ 前年度の指導方法等についての学校質問紙調査

中学校第2学年

ア 国語，数学，英語における前学年までの学習内容の定着状況調査

イ 生活と学習に関する意識・実態についての生徒質問紙調査

ウ 前年度の指導方法等についての学校質問紙調査

- ・ 調査の時期，回数  
平成15年6月17日（火）
- ・ 調査結果及びその活用  
平均通過率がすべての教科において60%を超えていることから，基礎学力はおおむね定着しているととらえている。また，平成14年度の調査と比較すると，
  - ア 通過率30%未満の児童生徒の割合がすべての教科で減少していること
  - イ 通過率のばらつきを大きさを表す標準偏差の値がすべての教科で小さくなっていること
  - ウ 平成14年度，県平均を下回った市町村での通過率が相対的に高くなっていること

から，基礎・基本の定着が進んでいると考える。調査結果の詳細は，別冊『平成15年度「基礎・基本」定着状況調査報告書』による。

次の内容を載せた報告書を各学校や教育委員会に配付するとともに，教育長のホームページにも掲載して，各学校や教育委員会における今後の指導の改善に役立てる。

ア 各教科の学習内容の定着状況についての調査結果の分析と考察

イ 指導方法等についての調査結果の分析

ウ 生活と学習に関する意識・実態についての調査結果の分析

エ 各教科の学習内容の定着に影響を与える項目についての分析と考察

オ 学校や教育委員会の取組み事例

各学校は，昨年度来の授業改善の取組みを評価・分析し，新たな指導改善計画の作成により，自校の課題を具体化・共有化し，PDCAによる授業改善サイクルの確立を推進する。

市町村教育委員会は，単独で学力調査を実施したり，学力定着に係り独自の事業を実施したりするなど，教育施策に生かす。

各市町村教育委員会・各学校は調査結果や指導改善計画等を保護者や地域に公開するなど，開かれた学校づくりを一層推進する。

学力向上推進協議会について

(1) 開催時期及び参加対象

第1回	平成15年 8月26日 指導主事，教員
第2回	平成15年11月21日 指導主事，教員
第3回	平成16年 2月20日 指導主事，教員

(2) 協議会の主な内容等

第1回

(趣旨)

- ・ 広島大学教授の講演及びフロンティアスクールの初年度の優れた実践研究発表により，各フロンティアスクールの研究の質を高めるとともに，参加各校の実践を充実し，本県の学力向上に資する。

(主な協議内容)

- ・ 実践研究発表
  - 東広島市立西志和小学校
  - 「基礎学力を確かなものにする指導の工夫」
  - 国語科・算数科の学習課程において、個人差に応じた弾力的な指導をすれば、確かな学力をつけることができるであろうという研究仮説のもとに取り組んだ1年目の実践研究のうち、国語科の取組みを発表。
  - 広島市立井口台中学校
  - 「生きる力を育てる授業の工夫改善」
  - 生きる力を育てる指導・個に応じた指導の工夫・評価の工夫の3つの課題にすべての教科で取り組んだ1年目の実践研究のうち、国語科の取組みを発表。
- ・ 講演
  - 広島大学大学院教育学研究科 吉田 裕久 教授
  - 演題「国語科における個に応じた指導」
  - なぜ今、「個に応じた指導」なのか
  - ア 教育は、本来、一人一人を育てること
  - イ できる子への配慮
  - ウ 一人一人が、実態としても、また希望としても様々に違う
  - エ 個に応じた指導と個別指導
  - 個に応じた指導に向けて
  - ア まず一人一人の実態をつかむ
  - イ 学習指導案が変わらなければならない
  - ウ 授業が変わらなければならない
  - エ 評価が変わらなければならない
  - オ 個の発見をどのようにしていくのか

## 第2回

### (趣旨)

- ・ 文部科学省教科調査官の講演及び全国の先進校の優れた実践研究発表により、各フロンティアスクールの研究の質を高めるとともに、参加各校の実践を充実し、本県の学力向上に資する。

### (主な協議内容)

- ・ 実践研究発表
  - 愛知県江南市立布袋小学校
  - 「確かな学力をもつ児童の育成」
  - 国語、算数、理科の教科において、少人数指導を実施する中で、個に応じた指導のための教材開発をし、きめ細かな指導方法の工夫改善を図ることによって、児童が「授業がわかる」という喜びや「授業が楽しい」という達成感を味わうことができれば、確かな学力を身に付けることができるであろうという研究仮説のもとに取り組んだ実践研究のうち、算数科と理科の取組みを発表。
  - 東京都千代田区立麹町中学校
  - 平成13年度から取り組んだ国語、数学、英語の教科における習熟度別指導の実践研究のうち、国語科と数学科の取組みを発表。
- ・ 講演
  - 文部科学省初等中等教育局教育課程課 日置 光久 教科調査官
  - 演題「習熟の程度に応じた指導」
  - 実践発表に対する講評
  - 中教審答申について
  - 子ども理解について
  - 評価について
  - 学力観について

## 第3回

### (趣旨)

- ・ 「考える力の育成」のテーマに基づき、フロンティアスクール等の基調提案及びパネルディスカッションにより、各フロンティアスクールの研究の質を高めるとともに、本県の学力向上に資する。
- (主な協議内容)
- ・ 基調提案
    - 安浦町立安登小学校  
「学び合いの授業づくり」  
国語科・算数科で実施している、主体的な学習活動につながる課題づくり、ワークシートやヒントカードの工夫、関わり合いの発言ができる話し方のパターン化など、考えをもたせ深めさせる「学び合いの授業」を提案。
    - 竹原市立忠海中学校  
「思考力・表現力の育成」  
各教科で実施している、「思考力」「表現力」を育成するための「場」を毎時間設定した教科の特性を活かした問題解決的な授業と、選択教科で実施している「思考力」「表現力」育成プログラムを踏まえた学習を提案。
  - ・ パネルディスカッション  
「考える力の育成のために」  
コーディネーター 広島大学大学院教育学研究科 角屋 重樹 教授  
パネリスト校  
福山市立南小学校  
尾道市立長江小学校  
向原町立向原中学校  
三和町立三和中学校

#### 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

##### 事業評価の実施方法・内容

各フロンティアスクールに対して、年度当初に研究推進計画の提出を求める。研究推進計画には、到達度テストの結果や児童生徒の学習時間等の数値化できる項目については数値目標を記載させるとともに、できるだけ具体的な成果指標を記載させるようにする。

各フロンティアスクールの担当指導主事は、研究推進計画をもとに、研究の進捗状況を定期的に把握し、評価する。

年度末には、研究推進計画をもとに、各フロンティアスクールが自己評価するとともに担当指導主事による評価を行い、次年度への課題を整理することで、事業計画の改善を図る。

##### 進捗状況（成果及び課題等）

平成15年4月18日に開催した第1回フロンティアティーチャー研修会において、各校の研究推進計画について個別指導し、5月15日に開催した第2回フロンティア研修会において、修正した研修計画の報告を求めた。その中で、具体的な検証方法を記載させるとともに、数値化できる項目については数値目標も記載させた。

平成15年9月24日に開催した第3回フロンティアティーチャー研修会において、2学期までの研究進捗状況の報告をもとに協議・評価した。その結果、進捗状況に課題があると判断した17校について、10月17日～29日の期間で個別に訪問し、指導した。また、10月21日に開催した第4回フロンティアティーチャー研修会、12月25日に開催した第5回フロンティアティーチャー研修会において、それぞれ研修状況、研究成果の報告をもとに協議・評価した。

また、各地区別学力向上推進協議会に担当指導主事が参加し、研究の進捗状況を把握し、指導した。

平成16年3月16日に開催予定の第6回フロンティアティーチャー研修会に

において、研究推進計画をもとにした自己評価及び平成16年度研究計画の報告をもとに協議・評価することとしている。

#### 【地区別協議会における特色ある取組】

##### 地区内の学校に対する支援策

- ・ 指導主事の学校訪問の際、資料等により学力向上フロンティアスクールの取組みを情報提供した。  
(広島地区協議会、呉・賀茂(北)地区協議会、呉・賀茂(南)地区協議会、芸北地区協議会、福山地区協議会、備北地区協議会)
- ・ 尾三地区プロジェクト校を指定することにより、フロンティア校の研究の手法を取り入れた研究を推進した。(尾三地区協議会)
- ・ 各フロンティアスクールの研究成果をまとめた冊子を作成し、管内のすべての小・中学校へ配付した。(福山地区協議会、広島市地区協議会)
- ・ フロンティアティーチャーを自校の校内研修に招聘することを呼びかけた。  
(福山地区協議会)

##### 研究成果の普及の方策

- ・ フロンティア校の公開研究会に積極的に参加を呼びかけた。  
(すべての地区協議会)
- ・ 広島県学力向上推進協議会への積極的な参加を呼びかけた。  
(すべての地区協議会)
- ・ 管内教職員を対象とする地区協議会を実施した。(すべての地区協議会))
- ・ 指導主事の学校訪問の際、資料等により学力向上フロンティアスクールの取組みを情報提供した。  
(広島地区協議会、呉・賀茂(北)地区協議会、呉・賀茂(南)地区協議会、芸北地区協議会、福山地区協議会、備北地区協議会)
- ・ 管内全校の校長会や教務主任研修、研究主任研修に、フロンティアティーチャーを講師としてフロンティア校各校の取組み及び成果を発表し、その成果普及を図った。  
(広島地区協議会、芸北地区協議会、尾三地区協議会、広島市地区協議会)
- ・ 各フロンティアスクールの研究成果をまとめた冊子を作成し、管内のすべての小・中学校へ配付した。(福山地区協議会、広島市地区協議会)
- ・ 管内全校の研究主任を対象とした教育研究推進のための会を設定し、フロンティア校各校の取組み及び成果を発表し、その成果普及を図った。  
(尾三地区協議会)
- ・ 各フロンティアスクールの研究成果をまとめた冊子を作成し、管内のすべての小・中学校へ配付した。(福山地区協議会、広島市地区協議会)
- ・ 市教育研究団体の研修会におけるフロンティアスクールの実践発表  
(福山地区協議会)
- ・ フロンティアスクールの校内研究授業に近隣の小中学校の参加を呼びかけ、共同で取り組める体制づくりに努めている。(福山地区協議会)
- ・ 備北教育事務所のホームページに研究の概要を掲載(備北地区協議会)